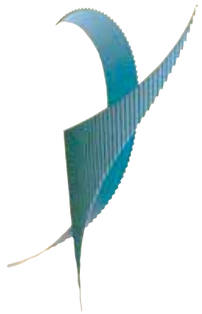


お問い合わせはお近くの当社支店・営業所へ

東日本営業部	☎(03)5483-5070	FAX (03)5483-5091	新潟営業所	☎(025)232-3510	FAX (025)232-3517	中部支店	☎(052)412-3221	FAX (052)412-3229
札幌営業所	☎(011)831-6141	FAX (011)831-6144	埼玉営業所	☎(048)652-6880	FAX (048)652-7024	関西支店	☎(06)6458-5971	FAX (06)6458-5978
東北営業所	☎(022)284-1257	FAX (022)284-1268	東京支店	☎(03)5483-5070	FAX (03)5483-5091	広島営業所	☎(082)282-1428	FAX (082)282-1430
北関東営業所	☎(027)370-8222	FAX (027)361-2700	神奈川営業所	☎(045)979-3955	FAX (045)979-3958	岡山営業所	☎(086)805-8681	FAX (086)245-3263
栃木営業所	☎(028)688-1080	FAX (028)653-3899	西日本営業部	☎(06)6458-5971	FAX (06)6458-5978	福岡営業所	☎(092)411-1005	FAX (092)471-6528

PRINTED WITH SOY INK

主に大豆油を使用した植物性Non-Vocタイプのインクを使用し水質汚染の原因となる有害な廃液が発生しない「水なし印刷」を採用しました。

アネスト岩田はISO9001およびISO14001認証取得企業です。

- 本カタログに記載のコンプレッサは給油式です。無給油式（オイルフリー）については、お近くの当社支店・営業所へご相談ください。
- 本カタログに記載の仕様は商品改良のため、予告なく変更することがあります。
- 仕様変更などにより、写真や内容が一部商品と異なる場合があります。

■お問い合わせは

ANEST IWATA アネスト岩田株式会社

〒223-8501 神奈川県横浜市港北区新吉田町3176

お客様相談室 0120-917-144（フリーダイヤル）

ホームページ http://www.anest-iwata.co.jp/

Printed in Japan **CAT.No.AP-C-88** 2011.08.改.10.SA★35

ANEST IWATA

スクリューコンプレッサ

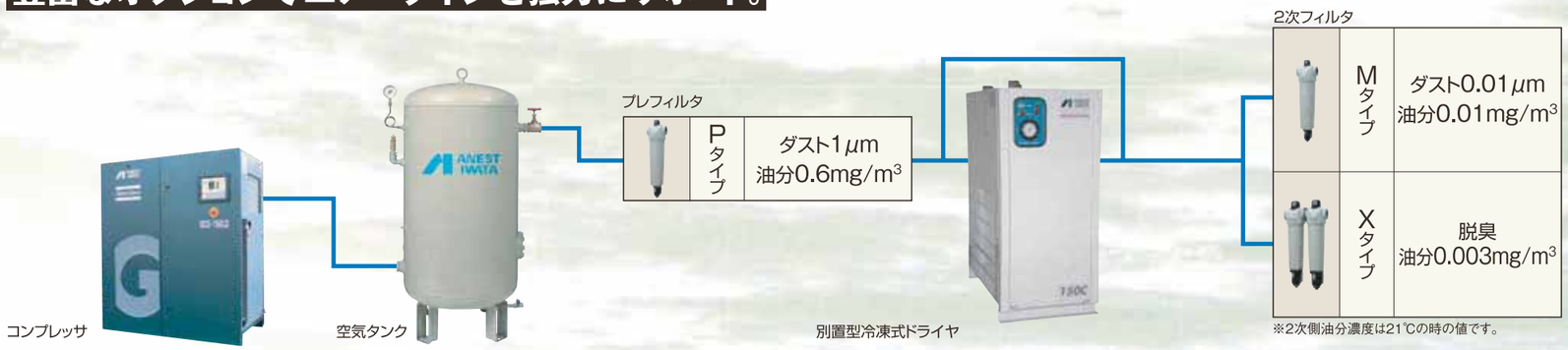
SCD-K·Lシリーズ 7.5~75kW

NEW 11~22kWのLタイプ 新登場!!

このグローバルスタンダードは、いつも一つ上を行く。

ユーザーの求める高いレベルをクリアし、さらにその上を行くアイテム、SCD-K・Lシリーズ。世界で最も多く導入されていることはもちろん、その性能が認められているからこそ「グローバルスタンダード」のポジションを確立しているのです。

豊富なオプションでエアーラインを強力にサポート。



※2次側油分濃度は21℃の時の値です。

●選定例

項目 / 形式	空気タンク	メインラインフィルタ Pタイプ	別置型 冷凍式ドライヤ	マイクロエレッサ Mタイプ	マイクロエレッサ Xタイプ
SCD-75K	SAT-220C-140	ALF2000B-14D	RDG-75C	ASF2000B-14D	AMF2000B-14D
SCD-110K	SAT-400C-140	ALF2000B-14D	RDG-110C	ASF2000B-14D	AMF2000B-14D
SCD-110L	SAT-400C-140	AF2004P-25	RDG-150C	AF2004M-25	AF2004X-25
SCD-150L	SAT-400C-140	AF2004P-25	RDG-150C	AF2004M-25	AF2004X-25
SCD-220L	SAT-600C-100	AF2007P-40	RDG-220C	AF2007M-40	AF2007X-40
SCD-300L	SAT-1000C-85	AF2007P-40	RDG-370C	AF2007M-40	AF2007X-40
SCD-370L	SAT-1000C-85	AF2010P-40	RDG-370C	AF2010M-40	AF2010X-40
SCD-450L	SAT-1500C-85	AF2010P-40	GT7055	AF2010M-40	AF2010X-40
SCD-550L(W)	SAT-2000C-85	AF2013P-50	GT7075	AF2013M-50	AF2013X-50
SCD-750L(W)	SAT-3000C-85	AF2020P-50	GT9120	AF2020M-50	AF2020X-50

※ドライヤの選定は圧力0.7MPa、周囲温度32℃の場合です。
※フィルタのAFシリーズ・ドライヤのGTシリーズはCKD社製です。

SCD-75KD

SCD-150LD裏側

①冷却ファン
②圧縮機本体
③メインモータ
④オイル/アフタークーラ
⑤オイルフィルタ
⑥電子制御盤
⑦非常停止ボタン
⑧空気取出口バルブ
⑨冷凍式ドライヤ
⑩吸込みフィルタ
⑪セパレータタンク
⑫防振ゴム

SCD-370LD

SCD-550L

「省エネ対策したい」の声にお応えします。

省エネ効果が高いロード･アンロード制御です。

ロード･アンロード制御とは、100%空気を作るロード運転か、全く空気を作らないアンロード運転かの自動制御機能です。アンロード運転時はロード運転時の約25%の電力消費なので、高い省エネ効果が得られます。例えば、吸込み絞り弁制御に比べて空気消費量率が50%の時に約25%もの省エネになります。

業界トップクラスの吐出し空気量です。

空気量が多いということは、使用量が同じならそれだけ空気を作る時間が短くて済むということ。つまり、電気代が少なくて済むのです。

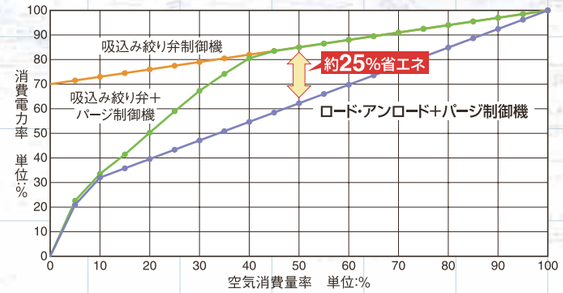
圧力をすぐに変更できます。

一般的な制御差圧は0.1MPaですが、SCD-K･Lシリーズは標準で0.06MPaです。お手元で0.01MPaステップの変更を操作できます。上限圧を0.05MPa下げれば約3.5%の省エネになります。
（差圧を小さくする時は適正な空気タンクを選定してください）

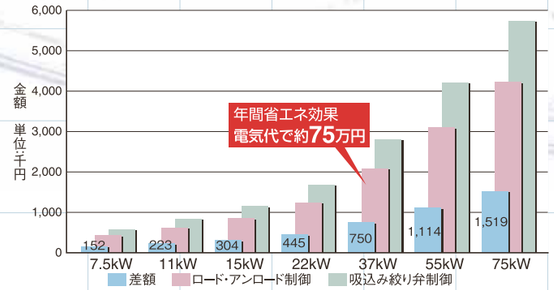
11kW以上は直結駆動です。（11kW以下のKタイプを除く）

11kW以上の機種からVベルトを無くしました。Vベルトのスリップによるロスが無くなり、より省エネに貢献します。

■省エネ線図



■省エネグラフ



ロード･アンロード制御なら従来の吸込み絞り弁を使った制御に比べて空気消費量率が50%の時に約25%もの省エネ＝コスト低減になります。例えば、37kWのコンプレッサで消費空気量が50%の時の年間省エネ効果は電気代換算で約75万円にもなります。
（電気料金15円/kW、6000時間/年として計算）

「地球環境に配慮したい」の声にお応えします。

オゾン破壊係数ゼロの新冷媒システムを採用しています。

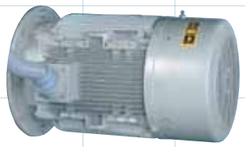
SCD-K･Lシリーズの一体型ドライヤには1999年の発売当初から業界に先駆けてオゾン破壊係数ゼロの新冷媒HFC134a/HFC404aを採用しています。

全機種防塵モータを標準搭載。

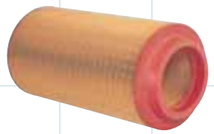
メインモータはIP55、ファンモータはIP54の防塵モータを標準で採用しています。厳しい環境下での信頼性に自信があります。
※IP55/54はJISC4034-5で規定されているモータの保護等級です。

高性能吸込みフィルタを搭載（11kW以下Kタイプを除く）。

粒子径3μmを99.9%捕集する高性能なフィルタを採用。30kW以上では塵埃の分離も「遠心分離+ろ過分離」の2段構えです。



■IP55全閉外扇防塵モータ



■高性能吸込みフィルタ（37kW）

「圧力を容易に変更したい」の声にお応えします。

■2通りの圧力設定ができます。 ※エレクトロニコンによる設定

圧力設定が2通りでき、空気消費状況により低圧運転で支障なければ、設定圧力の低い方を選択することで、容易に圧力低減による省エネ運転が図れます。

■簡易的な交互運転が可能です。

2台運転時、1号機の圧力設定をPB1（0.64～0.7MPa）を選択し2号機の圧力設定を0.59～0.65MPaに選択すると1号機が主機、2号機が従機となり、主機と従機はエレクトロニコンの設定で切替できます。（圧力設定は任意に設定できます。）切替は操作パネル及び内蔵ウィークリタイマによる自動切替が可能です。
（11kW以下のKタイプはウィークリタイマは付属していません）

「操作はラクに」の声にお応えします。

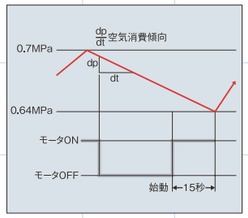
日常メンテナンスは正面から可能です。

オイルレベルの確認、オイルの補充、吸込みフィルタの点検、クーラのエアブロー等、日常メンテナンスはコンプレッサの正面から行えます。

先進技術のエレクトロニコンシステムを採用。（11kW以下のKタイプを除く）

- 使用空気量に応じた負荷運転、無負荷運転、自動停止を行ないます。また、設定圧を下回らないよう圧力降下時間を考慮して事前に負荷運転に切り替わります。
- 圧力設定の変更もデジタル表示で簡単にできます。（差圧を変更する場合は適切な空気タンクを選定してください）
- 停電後自動再起動機能、ウィークリタイマ、遠隔操作、外部圧力スイッチによる自動運転など多彩な機能を標準搭載。

■Lタイプエレクトロニコン



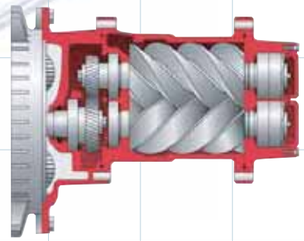
■運転判断システム機能

- 表示モニタでは、現在の運転状況を確認できる他、メンテナンス要求表示･警報表示･異常停止表示も行ない、外部への信号出力機能も標準搭載。
- 過去の異常停止履歴を記憶し、盤面で確認できます。

Lシリーズ特長

（30~75kW）

New High Efficiency Design
高効率設計　斬新なモーター体型ギア直結構造



■Lシリーズ圧縮機本体は従来品に比べ最大7.5%も吐出し空気量がアップしました。（30～75kW）

37kWクラスで国内最大級の吐出し空気量7.1m³/minを実現し、さらに30kWで5.8m³/min、45kWで8.6m³/minと1クラス上の吐出空気量を可能にしました。

■新方式のギア直結方式により、カップリングが削除され、メンテナンスの手間が省けました。

モーターの駆動側のベアリングはコンプレッサの軸受と同じオイルで潤滑するのでグリースアップが不要となり、補充･交換忘れによる事故を防ぎます。

■信頼性の高い電子ドレン排出方式を採用しました。

ドライヤー体型のセット機にも、アフタークーラにドレン分離機を内蔵し、ドライヤ手前で電子ドレンバルブによりドレンを排出します。さらにドライヤで分離したドレンを電子ドレンバルブにて排出しますので、よりドレン排出が確実になりました。

■仕様一覧（空冷式）

項目		形式	SCD-75K〈SCD-751K〉《SCD-752K》	SCD-75KD〈SCD-751KD〉《SCD-752KD》	SCD-110K〈SCD-1101K〉《SCD-1102K》	SCD-110KD〈SCD-1101KD〉《SCD-1102KD》
コンプレッサ	吐出し圧力	MPa	0.7〈0.95〉《1.25》			
	吸込気体・圧力・温度	℃	空気・大気圧・0～40℃（ドライヤー体型は空気・大気圧・2～40℃）			
	吐出し空気量※1	㎥/min	1.3〈1.0〉《0.8》		1.7〈1.5/1.4〉《1.2》	
	駆動方式		Vベルト			
	容量制御方式		ファインデュアル制御（ロード・アンロード制御＋背圧低下＋自動発停）			
	吐出し空気温度※2	℃	吸込温度＋14	吸込温度＋7	吸込温度＋17	吸込温度＋10
	空気取出口径	B	1/2			
	潤滑油充填量	ℓ	4.8			
	騒音値※3	dB(A)	57		60	
メインモータ	電動機電源電圧※4	V・Hz	3相AC200・50/200・60/220・60			
	始動方式		電磁スターデルタ（3コンタクタ）			
	電動機種別※5		全閉外扇防塵形、3相、2極、F種絶縁、IP55			
	電動機定格出力※6	kW	7.5		11	
冷凍式ドライヤ	出口空気露点※7	℃	——	10以下（圧力下）	——	10以下（圧力下）
	消費電力	kW	——	0.5	——	0.7
	冷媒種類		——	HFC134a	——	HFC134a
外形寸法（全幅×奥行×全高）※8		mm	1027×638×1212			
質量（含潤滑油）		kg	224	254	237	272

■仕様一覧（空冷式）

項目		形式	SCD-110L〈SCD-1101L〉《SCD-1102L》	SCD-110LD〈SCD-1101LD〉《SCD-1102LD》	SCD-150L〈SCD-1501L〉《SCD-1502L》	SCD-150LD〈SCD-1501LD〉《SCD-1502LD》	SCD-220L〈SCD-2201L〉《SCD-2202L》	SCD-220LD〈SCD-2201LD〉《SCD-2202LD》
コンプレッサ	吐出し圧力	MPa	0.7〈0.95〉《1.25》					
	吸込気体・圧力・温度	℃	空気・大気圧・0～40℃（ドライヤー体型は空気・大気圧・2～40℃）					
	吐出し空気量※1	㎥/min	1.9〈1.5〉《1.2》		2.7〈2.3〉《1.8》		4.0〈3.2〉《2.8》	
	駆動方式		ギア直結駆動					
	容量制御方式		ファインデュアル制御（段階制御＋背圧低下＋自動発停）					
	吐出し空気温度※2	℃	ドライヤ無し吸込空気温度＋15℃/ドライヤ付き＋10℃					
	空気取出口径	B	1					
	潤滑油充填量	ℓ	7				8	
	騒音値※3	dB(A)	63				64	
メインモータ	電動機電源電圧※4	V・Hz	3相 AC 200・50/200・60/220・60					
	始動方式		電磁スターデルタ（3コンタクタ）					
	電動機種別※5		フランジ横形、全閉外扇防塵形、3相、2極、F種絶縁、IP55					
	電動機定格出力※6	kW	11		15		22	
ファンモータ	電動機種別※5		全閉外扇防塵形、3相、4極・F種絶縁、IP54					
	電動機定格出力	kW	0.75					
冷凍式ドライヤ	出口空気露点※7	℃	——	15以下（加圧下）	——	15以下（加圧下）	——	10以下（加圧下）
	消費電力	kW(50/60Hz)	——	0.81/0.92	——	0.81/0.92	——	1.0/1.27〈0.81/0.92〉《0.81/0.82》
	冷媒種類		——	HFC134a	——	HFC134a	——	HFC134a
外形寸法（全幅×奥行×全高）※8		mm	1255×692×1475					
質量（含潤滑油）		kg	420	470	425	480	510	570

※ 1. 吐出し空気量は、吐出し圧力0.7〈0.95〉《1.25》MPa時の吐出し空気を吸込み状態に換算した平均値です。保証値については別途お問い合わせください。
※ 2. 吐出し空気温度は周囲温度20℃、吐出し圧力時の値を示しています。
※ 3. 騒音値は無響音室において正面1.5m、高さ1.0m吐出し圧力0.7MPa全負荷運転での代表値です。
※ 4. 60Hzの定格電圧は、200V、220V共用です。
※ 5. IP55・IP54は、JIS規格（C4034-5）に基づく防塵・防水性能のクラスを表示しています。
※ 6. モータは定格出力に対して20%の裕度（サービスファクタ）を有します。
※ 7. 出口空気露点は、周囲温度30℃、相対湿度70%各吐出し圧力時の値を示しています。
※ 8. 外形寸法は、パッケージ外周寸法です。バルブなどの突起部は含みません。
※ 9. 空気タンクは、7.5kWが200リットル以上、11kWKタイプ、Lタイプ・15kWが400リットル以上、22kWが600リットル以上のものを選定してください。
※10. 50Hzと60Hzでは仕様が異なるため、周波数の異なる地区では使用できません。

SCD-Kタイプの特徴（11kW以下）

■エレクトロニコンMKⅣ-1を搭載
・従来機のリレーシーケンス制御に比べエレクトロニコン採用で操作性アップ
・遠隔操作、圧力を2通り設定可能

■カートリッジ式のセパレータエレメント採用
・メンテナンスが容易になりました

■仕様一覧（空冷式）

項目		形式	SCD-300L〈SCD-3001L〉《SCD-3002L》	SCD-300LD〈SCD-3001LD〉《SCD-3002LD》	SCD-370L〈SCD-3701L〉《SCD-3702L》	SCD-370LD〈SCD-3701LD〉《SCD-3702LD》	SCD-450L〈SCD-4501L〉《SCD-4502L》	SCD-450LD〈SCD-4501LD〉《SCD-4502LD》
コンプレッサ	吐出し圧力	MPa	0.7〈0.95〉《1.25》					
	吸込気体・圧力・温度	℃	空気・大気圧・0～40℃（ドライヤー体型は空気・大気圧・2～40℃）					
	吐出し空気量※2	㎥/min(50/60Hz)	5.8/5.8〈4.8〉《3.9》		7.1/7.0〈5.9/6.0〉《4.9/5.0》		8.6/8.4〈7.3/7.1〉《6.0/5.8》	
	駆動方式		ギア直結					
	容量制御方式		ファインデュアル制御（ロード・アンロード制御＋背圧低下＋自動発停）					
	吐出し空気温度※3	℃	吸込温度＋10（ドライヤー体型は吸込温度＋5）					
	空気取出口径	B	1 1/2					
	潤滑油充填量	ℓ	21		22		23	
	騒音値※4	dB(A)	60		61		62	
メインモータ	電動機電源電圧※5	V・Hz	3相AC200・50/200・60/220・60					
	始動方式		電磁スターデルタ（3コンタクタ）					
	電動機種別※6		フランジ横形、全閉外扇防塵形、3相、2極、F種絶縁、IP55					
	電動機定格出力※7	kW	30		37		45	
ファンモータ	電動機種別※6		全閉外扇防塵形、3相、6極、F種絶縁、IP54					
	電動機定格出力	kW	1.0/0.73/0.82					
冷凍式ドライヤ	出口空気露点※8	℃	——	10以下（圧力下）	——	10以下（圧力下）	——	10以下（圧力下）
	消費電力※9	kW(50/60Hz)	——	3.2/3.2	——	3.2/3.2	——	3.2/3.2
	冷媒種類		——	HFC404a	——	HFC404a	——	HFC404a
外形寸法（全幅×奥行×全高）※10		mm	2040×970×1802					
質量（含潤滑油）		kg	960	1080	1000	1120	1030	1150

■仕様一覧（空冷式）

項目		形式	SCD-550L ※1〈SCD-5501L〉《SCD-5502L》	SCD-550LD ※1〈SCD-5501LD〉《SCD-5502LD》	SCD-750L〈SCD-7501L〉《SCD-7502L》	SCD-750LD〈SCD-7501LD〉《SCD-7502LD》
コンプレッサ	吐出し圧力	MPa	0.7〈0.95〉		0.7〈0.95〉《1.25》	
	吸込気体・圧力・温度	℃	空気・大気圧・0～40℃（ドライヤー体型は空気・大気圧・2～40）			
	吐出し空気量※2	㎥/min	10.6/10.6〈8.8/8.8〉		14.7/14.8〈12.3/12.3〉《10.3/10.6》	
	駆動方式		ギア直結			
	容量制御方式		ファインデュアル制御（ロード・アンロード制御＋背圧低下＋自動発停）			
	吐出し空気温度※3	℃	吸込温度＋10（ドライヤー体型は吸込温度＋5）			
	空気取出口径	G	2 1/2			
	潤滑油充填量	ℓ	26		29	
	騒音値※4	dB(A)	64		66	
メインモータ	電動機電源電圧※5	V・Hz	3相AC200・50/200・60/（220・60）			
	始動方式		電磁スターデルタ（3コンタクタ）			
	電動機種別※6		フランジ横形、全閉外扇防塵形、3相、2極、F種絶縁、IP55			
	電動機定格出力※7	kW	55		75	
ファンモータ	電動機種別※6		全閉外扇防塵形、3相、6極、F種絶縁、IP54			
	電動機定格出力	kW	2.0/1.8			
冷凍式ドライヤ	出口空気露点※8	℃	——	10以下（圧力下）	——	10以下（圧力下）
	消費電力※9	kW	——	4.7	——	4.7
	冷媒種類		——	HFC404a	——	HFC404a
外形寸法（全幅×奥行×全高）※10		mm	2290×1080×1962			
質量（含潤滑油）		kg	1430	1580	1530	1680

※ 1. 55kWの1.25MPa仕様は対応できません。
※ 2. 吐出し空気量は、吐出し圧力0.7〈0.95〉《1.25》MPa時の吐出し空気を吸込み状態に換算した平均値です。保証値については別途お問い合わせください。
※ 3. 吐出し空気温度は周囲温度20℃、吐出し圧力時の値を示しています。
※ 4. 騒音値は無響音室において正面1.5m、高さ1.0m吐出し圧力0.7MPa全負荷運転での代表値です。
※ 5. 45kW以下の60Hzの定格電圧は、200V、220V共用です。
55kW以上の220V/60Hzは、異電圧仕様となります。
※ 6. IP55・IP54は、JIS規格（C4034-5）に基づく防塵・防水性能のクラスを表示しています。
※ 7. モータは定格出力に対して15%の裕度（サービスファクタ）を有します。
※ 8. 出口空気露点は、周囲温度30℃、相対湿度70%各吐出し圧力時の値を示しています。
※ 9. 冷凍式ドライヤは、クランクケースヒータ付です。
（クランクケースヒータは、常時通電のためブレーカは落とさないでください。）
※10. 外形寸法は、パッケージ外周寸法です。バルブなどの突起部は含みません。
※11. 空気タンクは、30・37kWが1000リットル以上、45kWが1500リットル以上、55kWが2000リットル以上、75kWが3000リットル以上のものを選定してください。
※12. 50Hzと60Hzでは仕様が異なるため、周波数の異なる地区では使用できません。

■仕様一覧（水冷式）

項目 ＼ 形式			SCD-550LW ※1 〈SCD-5501LW〉	SCD-550LWD ※1 〈SCD-5501LWD〉	SCD-750LW 〈SCD-7501LW〉 《SCD-7502LW》	SCD-750LWD 〈SCD-7501LWD〉 《SCD-7502LWD》
コンプレッサ	吐出し圧力	MPa	0.7〈0.95〉		0.7〈0.95〉《1.25》	
	吸込気体・圧力・温度	℃	空気・大気圧・0～40℃（ドライヤー体型は空気・大気圧・2～40）			
	吐出し空気量※2	m³/min	10.6/10.6《8.8/8.8》		14.7/14.8〈12.3/12.3〉《10.3/10.6》	
	駆動方式		ギア直結			
	容量制御方式		ファインデュアル制御（ロード・アンロード制御＋背圧低下＋自動発停）			
	吐出し空気温度※3	℃	吸込温度＋10（ドライヤー体型は吸込温度＋5以下）			
	空気取出口径	G	2 1/2			
	冷却水出入口径	G	1 1/4			
	冷却水入口温度※4	℃	35以下			
	冷却水量※4	ℓ/min	67		91	
	潤滑油充填量	ℓ	26		29	
	騒音値※5	dB（A）	64		66	
メインモータ	電動機電源電圧※6	V・Hz	3相AC200・50/200・60/（220・60）			
	始動方式		電磁スターデルタ（3コンタクタ）			
	電動機種別※7		横形、全閉外扇防塵形、3相、2極、F種絶縁、IP55			
	電動機定格出力※8	kW	55		75	
冷凍式ドライヤ	出口空気露点※9	℃	——	10以下（圧力下）	——	10以下（圧力下）
	消費電力※10	kW	——	4.7/6.0	——	4.7/6.0
	冷媒種類		——	HFC404a	——	HFC404a
外形寸法（全幅×奥行×全高）※11		mm	2290×1080×1962			
質量（含潤滑油）		kg	1430	1580	1530	1680

※ 1. 55kWの1.25MPaの仕様は対応できません。
※ 2. 吐出し空気量は、吐出し圧力0.7〈0.95〉《1.25》MPa時の吐出し空気を吸込み状態に換算した平均値です。保証値については別途お問い合わせください。
※ 3. 吐出し空気温度は周囲20℃、冷却水20℃の時の値です。
※ 4. 冷却水入口温度及び冷却水量は、冷却水温度差（△t）15℃の場合の値を示しています。
※ 5. 騒音値は無響音室において正面1.5m、高さ1.0m吐出し圧力0.7MPa全負荷運転での代表値です。
※ 6. 220V/60Hzは、異電圧仕様となります。
※ 7. IP55は、JIS規格（C4034-5）に基づく防塵・防水性能のクラスを表示しています。
※ 8. モータは定格出力に対して15%の裕度（サービスファクタ）を有します。
※ 9. 出口空気露点は、周囲温度30℃、相対湿度70%各吐出し圧力時の値を示しています。
※10. 冷凍式ドライヤはクランクケースヒータ付です。
（クランクケースヒータは、常時通電のためブレーカは落とさないでください。）
※11. 外形寸法は、パッケージ外周寸法です。バルブなどの突起部は含みません。
※12. 空気タンクは、55kWが2000リットル以上、75kWが3000リットル以上のものを選定してください。
※13. 50Hzと60Hzでは仕様が異なるため、周波数の異なる地区では使用できません。

空気タンク

ファインデュアル制御の特長をいかし、より効率的な節電を行うため、充分な容量のタンクを選定ください。また、負荷変動の多い用途や瞬時に大量の空気を使用したい場合にもご使用ください。

■SAT-400C-140

●空気タンク仕様

形式 ＼ 項目	容積 ℓ	全幅×全高	質量 kg	最高使用圧力 MPa	空気取出し口
SAT-120C-140	120	583×1370	60	1.4	Rc3/4ストップバルブ
SAT-220C-140	220	610×1800	95	1.4	Rc1ストップバルブ
SAT-400C-140	400	830×1715	175	1.4	Rc1 1/2ストップバルブ
SAT-600C-100	600	1010×1710	217	1.0	Rc1 1/2ストップバルブ
SAT-1000C-85	1000	1090×2083	450	0.85	Rp2 1/2ソケット
SAT-1500C-85	1500	1140×2595	590	0.85	Rp2 1/2ソケット
SAT-2000C-85	2000	1270×3050	740	0.85	3フランジ
SAT-3000C-85	3000	1570×2815	1010	0.85	4フランジ

※SAT-3000C-85は受注生産品です。
※最高使用圧力とは使用するコンプレッサの制御上限圧力です。安全吹き出し圧力とは異なります。

ES6（中形コンプレッサ台数制御盤）

最大6台のスクリューコンプレッサ、ツースコンプレッサの台数制御を行います。
・エレクトロニコンMKⅣの基板がベースで漢字表記も加わり操作が簡単です。
・台数制御盤で必要となる基本機能を搭載しております。

●ES6の仕様

項目	仕　様
制御台数	2～6台
制御圧力 MPa	0.0～1.3
制御差圧 MPa	最小0.01（推奨0.05）
機能	コンプレッサ運転時間の均等化、制御圧力幅2通り設定 起動順位設定、予備機の運転機能装備 プログラムタイマーによる運転／停止、圧力幅切換、運転パターン切換可能
外部接点入力	台数制御起動／停止,圧力幅切換入力,起動順序パターン切換入力　各1点
外部接点出力	システム警報、台数制御運転／停止信号　各1点
電源	単相AC100Vまたは200Vの切換式 50／60Hz兼用
外形寸法（全幅×奥行×全高）mm	300×400×260（突起物含まず）
重量 kg	約10

※設置に関しては当社技術者の立会い試運転が必要です。

■ES6

エアーフィルタ

圧縮空気を効率よく使用し、かつツールの寿命を延長するため、各種のフィルタを用意しております。
クリーンなエアーは製品の品質向上にも役立ちます。

※□部分は下表より選定してください。

項目 ＼ 形式		AF2004□-25	AF2007□-40	AF2010□-40	AF2013□-50	AF2020□-50
処理空気流量	m³/min	3.7	6.6	9.6	13.2	19.8
使用圧力	MPa	0.1～1.0				
接続口径		Rc 1	Rc 1 1/2		Rc 2	
質量　（　）内はXタイプ	kg	2.6（2.2）	3.0（2.6）	4.9（4.5）	5.6（5.25）	
差圧インジケータ		標準装備（Xタイプは除く）				
ドレン排出器		内蔵（NOタイプ:無加圧時排出有。但し、Xタイプは除く）				
ドレン排出器口径	Rc	1/8（Xタイプは除く）				

●上記フィルタ形式の□はエレメントタイプP、M、Xのいずれかとなり、それぞれの仕様は下記の通りです。

項目 ＼ エレメントタイプ		P	M	X
使用温度範囲	℃	5～60		5～30
ろ過度	μm	1	0.01	活性炭による吸着
2次側油分濃度	mg/m³	—	0.01	0.003

※ 1. 処理空気流量は入口圧力0.7MPa、初期圧力降下0.01MPaの時の大気圧換算値です。
圧力が低くなると処理空気流量が少なくなること、圧力損失は反省エネであることから大きめのフィルタを選定することをお勧めします。
※ 2. 処理空気流量は20℃大気圧相対湿度65%での状態を表しています。
※ 3. 接続口径部はAF2000シリーズは平行メネジです。
※ 4. 使用流体は圧縮空気です。
※ 5. 2次側油分濃度は入気21℃以下の時の値です。
※ 6. 形式の□部分はエレメントタイプにより変わります。（例:AF2004P-25、AF2013X-50）

■汎用フィルタAF2000シリーズ

■RDG-150C

■GT9150

冷凍式エアードライヤ

コンプレッサから吐出される圧縮空気は、高温で多量の水分が含まれています。この圧縮空気をそのまま空気圧機器に使用しますとトラブルの原因になります。

冷凍式エアードライヤは空冷式の冷凍機で、流入圧縮空気を強制的に冷却し、水分を凝縮させ加圧露点10℃まで除湿し、乾燥空気を供給します。

項目 ＼ 形式			RDG-75C	RDG-110C	RDG-150C	RDG-220C	RDG-370C	GX3255	GT9075	GT9090	GT9120	GT9150
空気条件	周辺温度	℃	32					32	32			
	入気温度 ℃	25	—					11.45/13.39	—			
		30						10.84/12.67				
		35						9.87/11.54				
	温度変化に伴う処理空気量 50/60Hz m³/min	40～45	1.38	2.18	3.10	4.71	8.16	8.81/10.30	10.9/12.9	15.5/18.4	19.6/23.1	25/29.4
		50	1.28	2.03	2.88	4.38	7.59	7.05/8.24	8.7/10.3	12.4/14.7	15.7/14.5	20/23.5
		55	1.20	1.90	2.70	4.10	7.10	5.73/6.70	6.5/7.7	9.3/11.0	11.8/13.9	15/17.6
		60	1.04	1.65	2.34	3.56	6.17	—	4.4/5.2	6.2/7.4	7.9/9.2	10/11.8
									2.2/2.6	3.1/3.7	4.0/4.6	5/5.9
	入り口空気温度	℃	55					5～50	5～60			
	入り口空気圧力	MPa	0.7					0.7				
	出口空気露点	℃	10					10				
冷媒			HFC-407C					HFC-407C				
空気接続管径			Rc 3/4	Rc 1			Rc 1/2	R 2	Rc 2（ユニオン）		フランジ2 1/2B	フランジ 3B
質量		kg	43	61	65	73	120	90	146	237	258	372
外形寸法（W×D×H）		mm	267×685×601	350×744×795	350×744×795	430×744×895	510×844×1148	990×375×1165	722×1120×1256	752×1120×1411	752×1260×1375	1030×1290×1432
電源 50/60Hz		V	三相AC200V					三相AC200/200-220V 50/60Hz				
消費電力 50/60Hz		kW	0.47/0.55	0.63/0.74	0.85/1.0	1.20/1.77	2.0/2.4	5.2/6.1,5.9	2.2/2.6,2.7	3.0/3.7,3.7	2.9/3.8,3.6	3.7/4.8,4.7

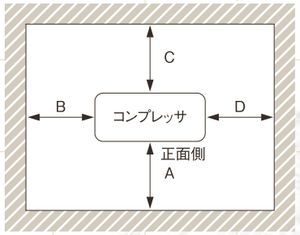
※ 1. 圧力降下は流量特性によります。詳細は別途お問い合わせください。
※ 2. 使用周囲温度は2～40℃です。
※ 3. 外形寸法はパッケージ外周寸法です。
※ 4. 消費電力は定格条件下における参考値であり、この値を保証するものではありません。

コンプレッサを快適に効率よく使うために

設置スペースに関して

①明るく十分なスペースがあり、周囲に危険のない屋内に設置してください。
②風通し（換気）が良く、きれいな空気が吸い込める場所に設置し、周囲温度が停止時・運転時ともドライヤ無し型は0℃～40℃、ドライヤー一体型は2℃～40℃とし、いずれも凍結が発生しないようにしてください。
③湿度が低く、ゴミやほこりの少ない場所に設置してください。
④水平で基礎がしっかりしている場所に設置してください。
⑤保守・点検作業が容易にできる場所に設置してください。設置にあたっては、下記設置スペース図の距離以上を確保してください。

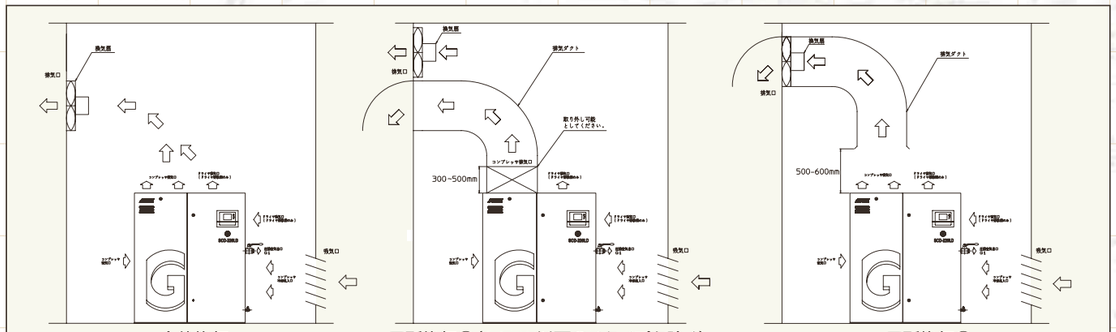
■設置スペース図



換気についてのご注意

①コンプレッサの性能を十分に発揮し、寿命を伸ばすためには据え付け場所の適切な換気が必要です。
②全体換気の場合、室内上昇温度を5℃に抑えるために必要な換気風量は下記の表のようになります。この数値は、排気側の抵抗が無い場合を示しています。換気扇の選定にあたっては、この数値以上のものを選定してください。
③換気扇は、据え付け場所の吸気口の位置とコンプレッサの吸/排気口の向きを考慮して、排気風が再循環しない位置に取り付けてください。
④据え付け場所の吸気口部の流速は、5m/sec以下としてください。
⑤局所換気（排気ダクトを取り付ける）の場合、排気ダクトの圧損をできるだけ少なくする配慮をしてください。排気ダクトの圧損が30Pa{3Aq}以下の場合、換気扇は必要ありませんが、それ以上の場合は排気ダクトの出口部に換気扇を取り付けてください。
排気ダクト出口部に換気扇を取り付ける場合は、排気ダクトとコンプレッサの間には必ず隙間を設けてください。
換気扇は内蔵換気扇の風量以上のものを選定し、静圧は排気ダクトの圧損にほぼ等しくなるような性能のものを選定してください。
ドライヤ付の場合は、ドライヤの排気口に排気ダクトを設けずに全体換気としてください。

■全体換気及び局所換気図



全体換気　局所換気①（11kW以下のKタイプを除く）　局所換気②

■電気配線、電源容量、漏電ブレーカ容量（参考）

モータ出力	電源トランス容量	適用電線最小太さm		漏電ブレーカ容量A	
kW	kVA	電源配線	アース線	フレーム	定格電流
7.5	20以上	14	3.5	50	50
11	20以上	14	5.5	100	75
15	30以上	22	8	125	100
22	50以上	38	8	250	150
30	75以上	60	14	250	200
37	100以上	100	22	250	225
45	100以上	100	22	400	250
55	100以上	150	22	400	300
75	150以上	200	22	400	400

※電線太さ、アース線太さは内線規定によります。
※電源配線の太さはCVT電線（単心3個撚り）を電線管に納めた場合を想定しています。
※漏電ブレーカは、コンプレッサの始動方式を考慮して選定してください。
※電源配線長さは、20m以下としてください。

■設置

項目 / 形式	設置スペース mm					全体換気 換気風量 m³/min		内蔵換気扇 風量 m³/min
	A	B	C	D	上部	圧縮機	ドライヤ	圧縮機
SCD-75K(D)	800	800	800	800	1200	106	8	36
SCD-110K(D)	800	800	800	800	1200	145	14	36
SCD-110L(D)	800	500	800	800	1200	162	37	63
SCD-150L(D)	800	500	800	800	1200	224	37	66
SCD-220L(D)	800	500	800	800	1200	336	58	72
SCD-300L(D)	1000	1000	1000	1000	1200	400	70	111
SCD-370L(D)	1000	1000	1000	1000	1200	470	70	111
SCD-450L(D)	1000	1000	1000	1000	1200	570	70	111
SCD-550L(D)	1000	1000	1000	1000	1200	685	120	150
SCD-750L(D)	1000	1000	1000	1000	1200	950	120	190
SCD-550LW(D)	1000	1000	1000	1000	1200	75	120	55
SCD-750LW(D)	1000	1000	1000	1000	1200	105	120	60

※1. 水冷機の内蔵換気扇風量は、モータのファン風量です。
※2. ドライヤの全体換気風量は、各出力における代表的な数字です。
※3. 11kW以下のKタイプの換気は、全体換気又は局所換気②で行ってください。

定期点検について

空気圧縮機を安全かつ支障なく使用するためには定期的な点検が必要です。
また、事業者に対し定期点検を義務づける法律もいくつかあります。
点検の実施については取扱説明書をよく読んで行ってください。

コンプレッサの設置に関する法規

コンプレッサの設置、使用開始に際しては、安全性や公害防止の見地から種々の法規に基づき、
定められた方法で顧客の皆さまに、設置の届出や許可、安全性の処置、
あるいは定期的な自主点検が求められています。
以下、汎用圧縮機に適用される規制の概要について説明します。

労働安全衛生法に基づくもの

ボイラー及び圧力容器安全規則（第2種圧力容器）

【対象となる圧力容器】
●最高使用圧力0.2MPa以上で内容量40ℓ以上の容器。
●最高使用圧力0.2MPa以上で胴内径200㎜以上でかつ胴長1000㎜以上の容器。

【お客様にて保管いただく書類】
●第2種圧力容器明細書取扱注意書。
●第2種圧力容器明細書（原本）。
●取扱説明書。
平成2年9月13日の官報で労働安全衛生法のボイラおよび圧力容器安全規制の一部が改正され、所轄労働基準監督署長への第二種圧力容器設置届出の義務はなくなりました。
ただし、圧力容器の取り扱いおよび圧力容器明細書の保管等については、従来と同一であり、大切に保管する必要があります。

【設置・使用に際して】
使用中は次の事項を守らなければなりません。
●圧力容器改造の禁止。
●第2種圧力容器明細書（原本）の保管。
検定日より2年以後の再発行はできず、再検定となります。紛失した場合は、使用・販売・譲渡が禁じられます。
●安全弁の吐出し圧力の調整。
●圧力計は、最大目盛が最高使用圧力の1.5～3倍で、最高使用圧力の位置に見易い表示があるものを使用する。
●年1回以上容器の内外面の掃除および下記の定期自主検査を実施、記録を3年間保管する。（記録用紙は取扱説明書に参考として記載してあります）本体の損傷の有無、ふたの取付ボルトの磨耗の有無、管および弁（止め弁、安全弁）の損傷の有無。
●もし圧力容器が破損事故を起した時は、速やかに第2種圧力容器事故報告書を所轄の労働基準監督署に提出する。

騒音規制法・振動規制法

【法規概要】
●法律では7.5kW以上の空気圧縮機が対象となっているが、指定地域、規制値など運用の判断が都道府県知事に委ねられているため、都道府県により規制の内容が異なりますのでご注意ください。

【届出に必要な書類】
該当する圧縮機の設置に当っては、以下の内容を所轄の市町村の公害担当窓口を通じて都道府県知事に、設置工事の開始または変更の30日前までに届け出なければなりません。
●氏名（代表者）または名称および住所。
●工事または事業場の名称および所在地。
※上記2項目の変更の届出は変更後30日以内です。
●特定施設の種類および能力ごとの台数。
●騒音（振動）の防止の方法。
●特定施設の配置図、その他総理府令で定める書類。

【設置・使用に際して】
また使用中は次の事項を守らなければなりません。
●工場または事業場の敷地境界線上での騒音（振動）がその地域の規制値以下であること。

フロンガス回収破壊法に基づくもの

フロンガス回収

平成14年4月1日よりフロン回収破壊法（正式法律名:[特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律]）が施行となり、さらにフロン類の回収を徹底するため、平成19年10月1日から改正法が施行されました。当社の冷凍式ドライヤ及び冷凍式ドライヤを搭載された圧縮機は第一種特定製品に該当し、フロン類を廃棄される時には、都道府県の登録を受けたフロン類回収業者にフロン類の回収委託を必ずして頂きますようお願い致します。併せてフロン回収後は、廃棄物処理法に基づいた廃棄処理をお願い致します。

⚠安全上のご注意

■コンプレッサの使用対象に関して
●圧縮空気を直接吸引したり呼吸器系の装置には使用しないでください。（人体に重大な障害を与える危険があります。特殊用途は弊社にお問い合わせください。）
●オイルフリーコンプレッサの圧縮部には潤滑油を使用しておりませんので、吐出し空気中、および排水ドレン内の油分は原則としてありませんが、大気中の油分、製造時の部品付着油分など微量ですが、油分が含まれることがあります。
●圧縮機の吐出し空気の中には、大気中のじんあいや各種ガスおよび摺動部摩耗粉、空気タンクの鉄錆、水滴などが含まれています。
●給油式コンプレッサの吐出し空気中には油分が含まれていますので設備の必要性に応じて油分除去装置（エアフィルタ等）を設けてください。
●空気タンクのドレン内にも錆が含まれますので、ドレン排水は毎日実施願います。（ドレン抜きの目詰まりの原因となります。）
●重要製造設備に使用される場合は、保護装置の作動によりコンプレッサが停止した場合や故障に備え、予備機やそれに替わる装置をご用意願います。
●原子力関連施設など特別な維持管理や信頼性が要求される場所には適用できません。

■設置場所に関して
●直射日光や雨の当たる場所は避け、粉じん・腐食性ガス・毒性ガスのない場所に設置してください。（寿命低下・故障・破損・火災の原因となります。）
●近くに爆発性・引火性ガス（アセチレン・プロパンガスなど）・有機溶剤などの可燃物のない場所に設置してください。（爆発・発火などの原因となります。）
●圧縮機本体は防じん仕様ではありませんので、セメント、砂、ほこりなどじんあいの多い場所では使用しないでください。

■ご使用に関して
●ご使用の前に取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
●製品の改造及び部品の改造は絶対にしないでください。（性能を十分発揮出来ないばかりか寿命低下や火災事故などの原因となります。）
●本製品は日本国内用として製造しております。海外でのご使用はご相談ください。

■保守・点検に関して
●本カタログに記載のコンプレッサは定期的な保守・点検が必要です。取扱説明書をよくお読みのうえ必ず実施してください。

※この安全上のご注意は必要最低限のものです。ご使用の際は取扱説明書に示す安全事項、国や自治体の消防、電気、安全関連の法規、規則、またそれぞれの企業や事業所で規則・規定として守るべき事項に従ってください。